

2. 利用者状況

入居・退去 の状況	入居	1名		入居前の状況			入所施設	0名		病院	0名						
							GH	0名		自宅	1名						
	退去	2名		退去後の状況			入所施設	1名		病院	0名						
							GH	0名		自宅	0名						
							逝去	1名			名						
利用者数（以下、内訳を記載）							男性	9名		女性	10名						
障がい種別 ※重複有	身体	計画時点	6名		知的	計画時点	8名		精神	計画時点	6名		難病	計画時点	0名		
		現時点	4名			現時点	6名			現時点	11名			現時点	0名		
支援区分	区分6	計画時点	0名		区分5	計画時点	4名		区分4	計画時点	6名		区分3	計画時点	6名		
		現時点	1名			現時点	2名			現時点	11名			現時点	5名		
	区分2	計画時点	4名		区分1	計画時点	0名		非該当	計画時点	0名						
		現時点	0名			現時点	0名			現時点	0名						
	年 齢	20代	計画時点	2名		30代	計画時点	4名		40代	計画時点	6名					
			現時点	2名			現時点	1名			現時点	2名					
50代	計画時点	4名		60代	計画時点	4名		合計	計画時点	20名							
	現時点	9名			現時点	5名			現時点	19名							
障がい特性 等	強度行動障がい	計画時点	0名		医療的ケア	計画時点	0名		高次脳機能障がい	計画時点	0名						
		現時点	3名			現時点	0名			現時点	2名						
日中の状況	通所する利用者	計画時点		10名		主にグループホーム 内で過ごす人			計画時点		10名						
		現時点		11名					現時点		8名						
評価	計画どおり・計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）																
	計画時の想定年齢のとおり、障がい等により自宅での生活の継続が困難となり、新たな生活先（居住先）として当施設を選択いただいた方が多いことから、20～60代の幅広い年代の方がご入居されています。今後も区分5、6などの受け入れも柔軟に対応していきます。																

3. 運営状況

日中支援の提供体制と支援内容	計画時点	・入浴介助 見守り声掛け支援、職員介助含めて対応をさせていただきます。 ・食事 栄養や健康状態に合わせ対応致します。具体的には食材を「タイヘイ」（栄養士が献立を考える）に依頼し、届いた食材を毎食職員が料理致します。 ・排せつ 見守り声掛け支援、職員介助含めて対応をさせていただきます。 ・着替え、整容等 保清には特に気を配り、季節毎の服装など対応させていただきます。 ・健康管理 職員による毎日のバイタルチェック等健康管理を行います。また、緊急時には主治医、協力医療機関、提携訪問看護事業所などと連携し対応致します。平時の通院同行も行います。健康管理として散歩同行やホーム内での体操などアクティビティも対応致します。 ・入院等に関する支援 利用者の入院については職員がご家族様が変わって対応させていただきます。
	現時点	・入浴介助 計画通り、見守り声掛け支援、職員介助含めた対応を実施している。 ・食事 計画通り、具体的には専門業者に依頼し、栄養士が考えた献立に基づき、届いた食材を毎食職員が調理、提供している。 ・排せつ 計画通り、見守り声掛け支援、職員介助含めて対応を実施している。 ・着替え、整容等 計画通り、保清には特に気を配り、季節に合わせた服装の対応や髭剃り等整容の対応を実施している。 ・健康管理 計画通り、職員による毎日のバイタルチェック等健康管理を実施している。また緊急時には、直ちに救急に連絡することで対応を実施した。平時の通院同行のほか、健康管理として散歩同行を実施している。 ・入院等に関する支援 R8.1に入院された方のご家族が都合により対応が難しいとのことであったため、定期的な面会やご本人や病院が持ってきてほしいと依頼のあった下着や寝巻の準備、CDラジカセの持ち込みなど都度ホームの方で準備・対応をさせていただいた。入退院の支援もホームにて支援をさせていただきました。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）
外出や余暇活動の実施状況	計画時点	・外出支援（散歩同行など） ・折り紙やお絵描きなどのアクティビティ支援 その他、年間行事（お正月や七夕、クリスマスなど）の飾り付けや地域行事への参加などへの支援を行って参ります。
	現時点	・外出支援 入居者の必要に応じて通院、買い物への付き添いを実施。就労や通所施設に定期的に外出されている方が、多数入居されました。外出は駐車場内からコンビニエンスストアやスーパーマーケット等、相談支援専門員らと協議の上決定し、現在でも継続しています。 ・折り紙やお絵描きなどのアクティビティ支援 余暇活動は入居者様それぞれに合わせ、散歩など運動される方や塗り絵、ボードゲームなど室内で実施される方がいます。 ・その他 地域行事ではR7.7に自治会長様に連絡をとらせていただき、翌8月に入居者様（2名（精神障がい/知的障がい））とゴミ拾いに参加いたしました。今後も行事には参加し、地域との交流を深めていきたいです。 ホーム内では、七夕やハロウィン等季節ごとのイベントでは利用者様と一緒に飾り付けを行ったり、利用者様の誕生日には、歌とちょっとしたプレゼント（シュークリーム等）をしています。また、月に1回（第三日曜日）には料理レク等を企画し、余暇活動の充実を図っています。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）

障がい特性 への配慮 （ソフト 面、ハード 面）の状況	計画 時点	・ソフト面 職員の研修として入社時の研修のほか、障がい特性への理解を深めるための研修を含めた、年間スケジュールを予定している。 ・ハード面（計画書に添付した平面図より） 利用者様の居室は全部屋個室。 玄関の入り口まではスロープと階段を設置し、屋内は全面バリアフリーとなっており、身体障害者の方でも移動が可能な構造。 浴室は一般浴室のほか、身体障がい者の方も入浴できるよう機械浴を設置。
	現時点	・ソフト面 計画通り、職員への研修体制を敷いています。入社時での研修を実施し、年間スケジュールとして研修を予定しているほか、職員会議を（頻度を記載）開催し、職員同士での検討する場を設けています。 ・ハード面 計画通り、利用者様は全員個室。玄関の入り口まではスロープと階段を設置し、屋内は全面バリアフリーとなっており、身体障害者の方でも移動が可能な環境を整備しています。入浴においては身体障がい者の方も入浴できるよう機械浴を設置し、現在でも毎日稼働しています。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）
家庭的な生活環境を確保するための取組状況	計画 時点	・食事（再掲） 栄養や健康状態に合わせ対応致します。具体的には食材を「タイヘイ」（栄養士が献立を考える）に依頼し、届いた食材を毎食職員が料理致します。 ・入浴（計画書に添付した平面図より） 浴室は一般家庭と同様な造りとした一般浴室のほか、身体障がい者の方も入浴できるよう機械浴を設置します。
	現時点	（再掲） 食事を提供する際は職員が各階の台所で調理を行い提供しています。作り立ての食事や調理者が目に見えることで、家庭的な生活環境を確保している。また、入浴も個浴とし、お一人ずつお湯を張り替えています。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）
地域との交流状況	計画 時点	・自治会活動への参加 自治会に加入し、地域の催し物等にも積極的に参加をして参ります。 ・ボランティアの受け入れ 楽器演奏など地域ボランティアの方々とも連携して参ります。 ・近隣公園や商業施設への外出 ホーム内で閉じこもってしまうことが無いように日中の通所先なども含め、地域との連携・交流に努めて参ります。
	現時点	・自治会活動への参加 R7.7自治会長様に連絡をさせていただき、翌8月にゴミ拾いに入居者様数名と参加させていただきました。今後も地域交流を図ります。 ・ボランティアの受け入れ ボランティア活動の受け入れ等は現状行われていませんが、今後はボランティアセンターを通じての受け入れや弾き語り、移動販売等を招致していきたいと考えております。 ・近隣公園や商業施設への外出 就労支援や一般就労に外出し、施設外との交流の機会を得られています。また施設は面会や外出が行えることから、ご利用者様のご家族や友人らと面会、外出を行えています。周囲を散歩したり、近隣のお店で買い物を行っています。 ・R7.10に地域連携推進会議を実施いたしました。構成委員の皆様からご質問やご意見をいただくなかで新たな視点や気づきに繋がりました。R8は9月に実施予定です。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 自治会活動へは今後も参加させていただき、地域交流を図っていききたいと考えております。 ボランティアの受け入れについて、現状実施できてはいないため、今後は弾き語りや体操の講師、移動販売（キッチンカー）等をお招き（弊社系列ホームにてキッチンカーの招致実績があるホームのやり方を踏襲）し、地域の方や近隣の相談支援事業所等にも呼びかけを行うことで交流を深めていききたいと考えております。

健康管理のための取組状況	計画時点	職員による毎日のバイタルチェック等健康管理を行います。また、緊急時には主治医、協力医療機関、提携訪問看護事業所などと連携し対応致します。平時の通院同行も行います。健康管理として散歩同行やホーム内での体操などアクティビティも対応致します。
	現時点	・毎日定刻に体温、血圧を測定している。また定期通院は職員が付き添うことで欠かさことなく、受診している。また敷地内の散歩同行やホーム内におけるアクティビティ（職員手製のパターゴルフ、的当て、ペットボトルボウリング等）も実施している。
	評価	計画どおり 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）
食事の提供体制	計画時点	栄養や健康状態に合わせ対応致します。具体的には食材を専門業者（栄養士が献立を考える）に依頼し、届いた食材を毎食職員が料理致します。
	現時点	あらかじめ栄養士監修のもと用意された献立に基づいて食材を施設内で調理することで、栄養面において配慮されたものを提供しています。また実績はないが、刻み食とムース食にも対応できる体制があります。
	評価	計画どおり 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載）

人権の尊重、権利擁護のための取組と対応状況	計画時点	・虐待防止について 従業者の虐待についての理解を深めるための取組みとして、入職時研修のほか、年 2 回（毎年 7 月・ 1 月）の虐待防止研修を予定。 虐待防止ポスターを事業所のリビングと事務所に設置。 虐待防止身体拘束等適正化マニュアルを事務所に設置。 運営部（新潟 県担当）にて定期的に事業所訪問、チェック。 本社内部監査室による虐待防止アンケートの実施。 内部通報制度を外部機関に設置し、ポスターを事務所に設置。 ・職員配置について 職員については男性、女性ともに採用を進めさせて頂いており、同性介助を念頭においた職員配置を考えさせて頂いておりますが、応募状況から女性の割合が多くなることが予想されます。職員配置シフト等検討させて頂き、利用者様権利擁護に配慮した上で進めさせて頂きます。
	現時点	・虐待防止について 虐待防止委員会並びに身体拘束適正化委員会を会社として組織し、入社時研修を実施しています。定期的な虐待防止研修では、参加職員に虐待防止アンケート調査を行うこととしているが、評価期間においては研修をR7, 7月とR8, 1月に実施いたしました。 計画通りに、虐待防止ポスターを事業所のリビングと事務所に設置するとともに、虐待防止身体拘束等適正化マニュアルを事務所に設置し、全職員が一度はマニュアルに目を通しています。 内部通報制度を外部機関に設置し、ポスターを事務所に設置。現在の通報件数は0件。 運営部（新潟県担当）の定期的な事業所訪問を実施し、組織的に対応しています。 ・職員配置について 排泄、入浴等の身体介助は同性介助を念頭においた職員を配置しています。 ・その他 個室、個浴で、トイレ内も入居者一人での使用となるのでプライバシーの保護に取り組んでいます。利用者様から『入浴中は声を掛けないでほしい』等の希望が聞かれた場合は、希望を最大限尊重いたしますが、てんかん発作等リスクがある方に対しては安全面に十分に配慮した支援（定期的な声掛け等）を実施させて頂いております。
	評価	計画どおり・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 虐待防止研修や虐待防止アンケートについて、1月と7月に実施しています。事例をもとにどのようにすれば虐待を防止できるか、また、虐待にならないためにはどのようなことが大事なのかを話し合いを行いました。そのためにも障がいの特性をしっかりと理解すること、個別支援計画に沿い統一した支援を行うこと、些細なことでも関係各所への迅速な報連相を行うことが虐待防止に繋がるのではないかと話し合いをすることができました。また、困っている職員を一人にしないことを意識し、チームとして支援していくことも大切であることを確認しております。

事故対応の体制と対応状況	計画時点	計画書には記載が無いが、マニュアルやヒヤリハット等を策定しています。
	現時点	事故対応マニュアルを用意しており、また判断に迷う場合に備えて緊急連絡先を掲示しています。重大事故については、指示を待たずに警察または消防に通報し対応しています。その後は責任者より関係者各位に連絡することで情報共有できる体制を整えております。評価期間の事故報告数としてR7. 1～3→4件（内訳：人間違い誤薬1件、異食1件、転倒2件）R7. 4～R8. 3→16件（内訳：誤薬6件（タイミング間違い2件、薬局のセットミス1件、落薬3件）、転倒4件、異食1件、自傷1件、救急搬送1件、車両事故1件、無断外出1件、死亡事故1件）総計20件。ヒヤリハットは58件です。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 緊急連絡先の掲示や、利用者様個人の緊急時持ち出しファイル（既往歴、薬情等記載）を作成しております。 R8. 3/20に利用者様入浴中におけるてんかん発作が要因で溺死事故が起きました。ご本人様から『入浴中は声をかけないでほしい』という気持ちを優先するあまり、安全への配慮を怠ったが故の事故であります。ご家族様からは『ホームには良くしてもらっていたので、大事にはしてほしくないし、〇〇（お名前）もそれは望んでいないと思う』とお言葉をいただいております。3/27に緊急ホーム会議を実施し、リスクがある方への支援についての見直し、発見の遅れを防ぐため定期的な声掛け、見守り、記録と情報共有の徹底等をより強固に実践していくことを取り決めました。今回の事を踏まえ安全と命を優先とする支援を行っていき再発防止に努めていきます。
金銭管理の体制と対応状況	計画時点	計画書には記載が無いが、マニュアルを策定している。
	現時点	入居者の必要に応じ、施設が立て替えることで金銭の持ち込みが不要の体制を取っています。身寄りがいなく居を施設に移している方等については、ご持参された通帳等貴重品は電子錠の耐火金庫に納めており、紛失を防ぐ体制を取っています。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 今後も現状維持をしていきたいです。
短期入所の実施と受入状況	計画時点	地域のご利用者様に幅広くご活用頂けるよう周知活動を進めて参ります。 また、緊急対応についても地域の障害福祉サービス事業所様含め連携させて頂き、対応させて頂きます。
	現時点	男性1室、女性1室の短期入所を受け入れており、 契約者は男女合わせ27名（男性13名：女性14名）おります。 それぞれ1泊2日、3泊4日等利用している方や、隔週でご利用される方、金曜日・土曜日と定期的にご利用されている方もいらっしゃいます。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 引き続き周知継続を行い、利用者数の確保、増加に努めていきます。 利用実績としては以下の通りです。 2026/1: 男性21日、女性8日 2026/2: 男性20日、女性4日 2026/3: 男性22日、女性8日

人材確保・ 育成のための 取組状況	計画 時点	同性介助を念頭におき男性、女性ともに採用を進めさせていただきます。
	現時点	・人材確保面ではハローワークでの説明会の開催や、地域住民への職場案内のほか、職員からの知人紹介を実施し、知人紹介で1名、求人媒体から8名（3名退職済）の採用をしています。 ・育成面では毎月の研修体制を敷いており、職員会議での問題解決に向けた検討等の場を設けています。尚、入社時に入社時研修を設けており虐待や個人情報保護等に対してや利用者様との接し方等指導しています。また先輩職員からの現場でのOJTにも力を入れています。 ・またホーム独自の取り組みとして提携させていただいている薬局様に依頼しスタッフ向けのお薬説明会をR7, 6に開催いたしました。参加したスタッフからは『詳しく聞けて良かった』、『改めて薬の取り扱いについて勉強になった』と前向きな意見が挙がっております。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 引き続き現行の人材確保活動を継続して人材確保に努め、職員育成の体制を継続する。
サービスの 質の評価体 制	計画 時点	利用者様のニーズにあわせた支援を行う。
	現時点	現在も施設サービス管理責任者が主体となり、利用者や家族、相談員との連絡を定期的なモニタリングや会議の他にも必要に応じ取り合うことで、ニーズの把握に努め、可能な限り、事業所の運営に反映しようと努めております。今後も継続して利用者様のニーズを把握し、よりよいサービスに務めてまいります。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 今後は定期的なモニタリングや会議の場での確認を実施するほか、利用者やご家族様にアンケートを実施するなど、サービスの質の評価の体制整備に努めてまいります。また月初めに管理者、サビ管、支援員で行う支援会議、月末にホーム全体会議を実施しています。月内に会議を2回実施することで、職員間でのコミュニケーションや支援統一等の機会を設け、サービスの質の向上に努めています。また会議に参加が難しい職員へは会議翌日に会議録を作成し回覧しています。

前回評価に対する対応 （自立支援協議会からの意見・要望への対応	計画時点	今年度、事業所内でアンケートを実施され、課題に対しては職員会議で共有・協議していかれるとのこと。来年度の評価では、職員会議の積み重ねによって、アンケート結果が満足される報告をいただけるよう取り組んでください。
	現時点	昨年度のアンケート内に『娘の様子を細かく知りたい』とご家族様からのご意見があったため、通院後等では様子をお伝えし、連絡がつきにくい時には相談員さんを通じて連絡をとっています。ご意見をいただいたご家族様からは『連絡をいただいて助かってます』とお話がありました。
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） ・ 今回もサービスの質の向上のため、ご利用者様とご家族様にアンケートを実施させていただきました。（R7.11回収） ・ 結果として非常に満足・満足が7割、非常に不満・不満が3割でした。様々な特性をもった利用者様が共同生活をされているため、他利用者様同士の折り合いが合わずにストレスを抱えている方が多いです。協調性の乏しさから他者との関わりが難しい利用者様への支援が課題です。 ・ 「家で生活がしたい」「自由に買い物や外出がしたい」というご希望がありますが、ご家族様や後見人、相談支援専門員等の意向やご意見を反映した支援となるため、利用者様のご希望に添えないことも多いことから、アンケート結果においては非常に不満、やや不満が多い理由と思われます。 その都度、お気持ちに寄り添い、少しでもニーズの充足を図れるように各関係機関と連携していきます。 ・ ご家族様からのご意見のなかで『少しずつ状態を見て本人の生活能力の向上を図ってくれていると感じる』、『入所以来、自己管理ができるようになっており感謝しています』（原文ママ）とホームの支援に対して肯定的なご意見を頂戴しております。また、『親元を離れて1年過ぎましたが、やはり心配や不安な気持ちがあり、割り切ることは難しいものですね。なかなか顔を出せずに申し訳ありません。これからも親子共々どうぞ宜しくお願いいたします。』（一部抜粋）との記述がありました。これを受け、ご家族様にも安心してご利用していただけるよう、ご本人様の様子を定期的にお伝えする等の細かな連絡にも力を入れていきたいです。 ・ ご利用者様からは『丁寧な人がほとんどですが、そうじゃない職員がいる』（原文ママ）とのご意見がありましたので、ホーム会議にて結果を踏まえた共有と、ご利用者様との関わりや適切な支援についての話し合いを行いました。ホーム会議にて職員は利用者様との関わり方についての悩みを多く抱えていることも再確認できたため、今後も定期的、必要に応じた個人面談等を実施しホームとしてのレベルアップを図りアンケート結果の『非常に満足』が増えるように今後も努めていきます。
相談支援事業所や他のサービス事業所等との連携	計画時点	弊社はホーム運営事業に特化しており相談支援事業所を持っていない為、ご利用者様の計画等について他法人様が運営する相談支援事業所に依頼させて頂いております。 グループホームだけで対応するのではなく、地域の障害福祉サービス事業所様や基幹相談様と連携を図り、利用者が地域に根差した生活が営めるように調整をして参ります。
	現時点	相談支援事業所とは、ご利用者様の入居前の受け入れ相談から計画内容、通院先の設定等を会議し、ご利用者様の入居後は活動先や定期的なモニタリング等の連携しております。障害福祉サービス事業所とは、ご利用者様の日中の活動先として、障害福祉サービス事業所の利用に至るまでの相談から利用中のご利用者様の情報の共有を行う等の連携をしております。 現在の利用者様の相談支援事業所および利用者様が利用している障害福祉サービス事業所の実績は下記の通りです。 相談支援事業所：14カ所 障害福祉サービス事業所：8カ所
	評価	計画どおり ・ 計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 計画どおり、相談支援事業所および、生活介護事業所等障害福祉サービス事業所と連携はとれており、現状を継続いたします。

その他（事業所独自の取組等）	計画時点	◆利用者様像について ・推定障害支援区分 弊社は日中サービス支援型は、従来の介護包括型と障がい者施設の間中に位置するものと考えており、想定区分としては上記のような形としております。ただ、ご相談状況に合わせ、区分が高いからといって難しいと判断はすぐにはせず、柔軟に対応させていただいております。 また、区分だけでは判断が難しい部分もございますが、区分の低い方に関しては、日中サービス型でなくても生活が可能な方については介護包括型等の方がよろしいのではと吟味しております。 ・想定年齢 日中サービス支援型の趣旨に則り、ご家族が高齢化しご自宅にて支援が難しくなっているご年齢層が想定となりますので記載では10代20代は外しております。ただ、ご相談状況に併せて適格かつ適性に対応させていただければと考えております。 ・男女の別 現在、ソーシャルインクルーホーム燕巣木は男性10名、女性10名利用者ホームとなっております。1階を男性フロア、2階を女性フロアとなります。定員を超える場合は、弊社新潟市内・新発田市内のホームをご案内させて頂ければと考えております。
	現時点	・障害支援区分 区分3：6名、区分4：11名、区分5：2名 区分6：1名 ・年齢 20代：2名、30代：1名、40代：2名、50代：9名、60代：5名 ・男女の別 計画どおり、現在、ソーシャルインクルーホーム燕巣木は男性10名、女性10名の利用者のホームであり、1階を男性フロア2階を女性フロアとなっています。
	評価	計画どおり・計画より下回っている⇒（理由と今後の対応を下欄に記載） 終日原則、各階2名以上の人員体制とし、重度の障害がある方も受け入れられよう取り組んでいる。

※必要に応じて、適宜行を追加ください。

4. 自立支援協議会での評価
(①評価後、事業者が下欄を記入し、市へ提出。②市の確認後、事業者が県へ提出)

評価を受けた日	
評価・意見・要望等	
その他	